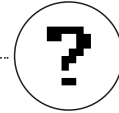


## Frequently Asked Question



いまさら聞けない



いまだから聞きたい

このコーナーでは読者の皆さんのインターネットに関する疑問や質問にお答えします。「？」と感じたことはどのようなことでも構いませんので、下記のメールアドレスまでご質問ください。なお、ご質問へのメールでの回答はできませんのでご了承ください。

ご質問はこちらまで  
im-faq@impress.co.jp

今月のポイント

# 1 「Wiki」って何？

# 2 公的個人認証サービスとはどんなもの？



Wikiって最近よく聞きますが、何のことですか？ 教えてください。(群馬県・茂木さん)



Wiki(ハワイ語で「素早い」という意味)とは「誰でも自由に書き換えて編集でき簡単にリンクを張れる」ウェブサイトのことです。正式には、Wikiwiki Webといい、1994年に Ward Cunninghamによって作られました。Perlで約350行と短く書かれた画期的なプログラムで、日本語版も「YukiWiki」「PukiWiki」などいろいろとあります。

Wikiでは自由にすべてのページを誰でも書き換えられるというのが大きな特徴です。一般的なウェブサイトや掲示板、ブログなどでは、書き込みやコメントしたりすることはできますが、他の人の書き込みやコメントを書き換えたりはできないので、この点が非常に便利です。

また、通常、ウェブページ作成者は、特別な文字列を使って見出しや文字の大きさやリンク先を文章中に記述していくHTMLで作成します。しかしWikiでは、ページに書いた文の頭に「\*」「-」などの

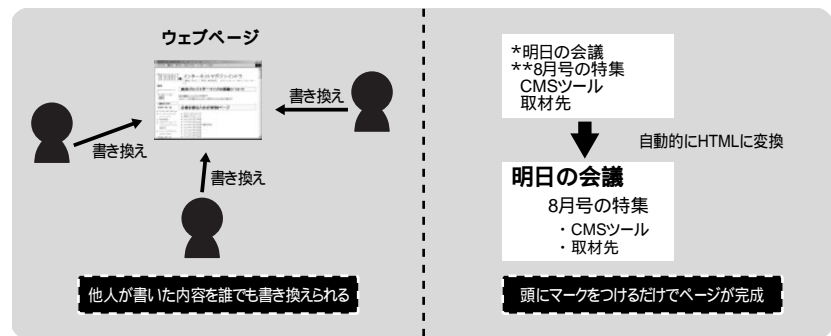
マークをつけて見出しやフォントを指定するだけで、自動的にHTMLに変換してページを作成できます。さらにURLのアドレスを書くだけで自動的にリンクも張れます。

Wikiは、誰でも自由に書き換えられる一方で、改ざんされる危険性などもあります。また、見出しの指定などに使うマークアップ方法を知らないと表現できなかったり、フォーマットに制限があるので、凝った

ページは作成できなかったりする不便さもあります。しかし、パスワードを設定してページに入れないようにしたり、マークアップの一覧を参照できるようにすればとても便利に使うことができます。

編集部でも、企画の内容をメモ代わりにして書きとめたり、連絡ボードとして各自のスケジュールなどを書き込んだりしてWikiを有効に活用しています。(編集部)

Wikiの特徴



Wikiは誰でも自由にページを書き換えられる  
HTMLを書けなくてもWikiが自動的に変換してくれる



Q

「公的個人認証サービス」って何のことですか？ 私たちの生活とどんなにかわりがあるのでしょうか？  
(石川県 辻さん)

A

これまで窓口に向く必要のあった行政機関への各種の申請や届け出は、インターネットを利用して自宅や職場からでもできるようになりました。しかしインターネットの利用には「なりすまし」「改ざん」などの危険も潜んでいるため、申請者が本当に本人であるのか、申請内容が正しいものであるかなどを証明する仕組みが必要です。公的個人認証サービスとは、公的機関が暗号技術を利用して申請や届け出の内容を証明する仕組みです(図)。

このサービスは2004年1月29日から開始され、2月2日からは名古屋国税局管内で国税電子申告、3月29日からは厚生労働省の社会保険関係手続きや、岡山県でのパスポートの申請手続きなどが開始されています。今後も、国の機関のほか各地方公共団体の手続きが順次追加される見込みです。

このサービスを利用して各種の申請や届け出をするためには、電子証明書が必要です。「電子証明書」は申請者が在住している都道府県の知事より発行され、各市区町村役場で発行される住民基本台帳カード(ICカード)に保存されます。

申請者はこのカードを受け取る必要があります。発行手数料は500円(市町村によって異なる)有効期限は原則として3年間です。カードには電子証明書と一緒に電子署名に必要な秘密鍵の情報も入っています。

申請者は、「電子証明書」「電子署名」「申請書」を暗号化して行政機関に送って

## 公的個人認証サービスとは本人確認サービス インターネットを利用した行政手続を悪意から防御

申請をします。電子申請を受けた各省庁などの行政機関は、発行元の都道府県の認証局や民間の認証局に証明書の有効性をオンラインで確認します。

申請者側には専用のソフトウェア(市町村が配布)やICカードリーダーライターが必要となります。この専用ソフトウェアは現在はウィンドウズ版しか利用できませんが、Mac OS版やLinux版なども開発が検討されています。また、指定ブラウザはインターネットエクスプローラとネットスケープです。

住民基本台帳カードに電子証明書が保存されていることについては、一部のセキュリティ専門家からは、拾ったり盗んだりした場合に誰のものであるかがわかってしまう危険性が指摘されています。しかし、住

民基本台帳カードが盗まれたとしても暗証番号がわからなければ悪用はできません。

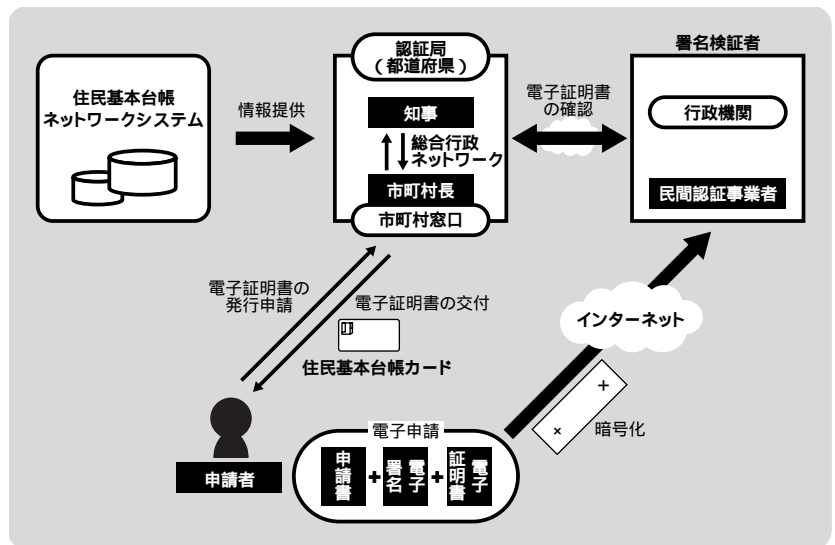
公的個人認証サービスは住基ネットと密接なつながりがあるために、普及には住基ネットのセキュリティに対する不安を取り除くことが欠かせません。住基ネットに接続していない地方公共団体は公的個人認証サービスを実施できない状況にあり、国民が安心感を持つまでには多くの課題が残っているといえるでしょう。

最近個人情報の流出が相次いでいますが、電子申請そのものはコスト削減につながる仕組みですので、セキュリティと利便性の両面からの改善が今後進むことによって、普及も進むものと考えられます。

URL <http://www.jpki.go.jp/>

(ラック・三輪信雄)

公的個人認証サービスの仕組み





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)